

フォーラム 21 少年少女合唱団

第 32 回定期演奏会

2025 **4.27** Sun

14:00 開演 13:30 開場

アイプラザー宮 講堂 (大ホール)

一宮市若竹 3 丁目 1-12

入場料 1000 円

高校生以下無料

大中恩 作品集

作曲 大中恩

われもこう

ふと口ずさむ

作曲 新実徳英

子どもたちの遺言

作曲 名田綾子

○ magnum mysterium

作曲 T.L.Victoria

天使と羊飼い

作曲 Z.Kodály

Missa Sancti Aloysii より Gloria

作曲 M.Haydn

打楽器
悪原至

ヴァイオリン
高松亜衣

ピアノ
名田綾子
伊藤勝寛

指揮
新実徳英
大平健介

主催 フォーラム21少年少女合唱団
<https://forum21kinderchor.com>

お問い合わせ info@forum21kinderchor.com
tel (0586) 77-1650

団員募集

オーディションを2月、5月に実施予定です 詳しくはHPを参照ください 随時見学可能です

イラスト・写真 松崎春佳 宇野紀佳梨



フォーラム21少年少女合唱団

1991年10月、愛知県一宮市で結成される。合唱音楽により子供たちの自由で豊かな感性を養い、国際交流などを通じて個性ある人間性を育むことを目的としている。これまでに、作曲家の池辺晋一郎、新実徳英、鈴木輝昭、中川いづみ各氏に自作曲を指導・指揮していただき、2007年にはソプラノ歌手藍川由美氏と共演する機会にも恵まれた。異色の共演としては2008年、落語と合唱のための『叩き蟹』を三遊亭圓窓匠と名古屋・東京・一宮で公演し好評を博した。また、2006年、2008年にNHK東京児童合唱団と共演、2015年には名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。海外では1995年ウィーン、1999年イギリス、2006年オーストラリア、2013年ドイツにて演奏会を開催。2017年10月にはドイツよりハノーファー少女合唱団を一宮市に迎えジョイントコンサートを行った。

代表：宇野桂司、指導：藤原順子(声楽)、金森真由美(ピアノ)、青木美沙季(声楽)、伊藤勝寛(ピアノ)



新実徳英(にいみ とくひで)作曲・指揮

1947年名古屋生まれ。東京大学工学部卒業、東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修了。1977年ジュネーブ国際バレエ音楽作曲コンクールにて史上二人目のグランプリ並びにジュネーブ市賞受賞。2004年CD「風神・雷神」が文化庁芸術祭大賞を受賞。2005年万博記念オペラ「白鳥(しろとり)」が名古屋において世界初演され、この公演に佐川吉男音楽賞が授与される。2006年オーケストラ・アンサンブル金沢のコンポーザー・イン・レジデンスに就任し、「協奏的交響曲～エランヴィタル～」が世界初演され第55回尾高賞を受賞。管弦楽作品の多くは、国内ではNHK交響楽団を初め主要なオーケストラで、海外でもスイス・ロマン、オランダ放送、BBCスコティッシュ、フランス国立放送、ベルリン、ニュルンベルグ等のオーケストラにより演奏され、それぞれ高い評価を得ている。2018年2月、NYでの作品個展にて新作「ピアノ5重奏曲～魂の形」他が好評を博す。桐朋学園大学院大学名誉教授。



大平健介(おおひら けんすけ)指揮

神奈川県横浜市生まれ。東京藝術大学卒業、同大学院修了。2010年よりDAAD給費留学生として渡独。ヴュルツブルク及びミュンヘン音大にて学んだ。文化庁新進芸術家海外研修員。ION ニュルンベルク国際オルガンコンクール優勝(2016年)。以後2020年まで、ドイツ・シュトゥットガルトのシュティフツ教会専属オルガニストとして教会内での多岐に渡る音楽プロジェクトに携わった。ドイツの様々な歴史的楽器でソロ、アンサンブル、通奏低音奏者として多数のCDをリリースしている。ソリストとしてはこれまでに聖母教会(ドレスデン)、マドレーヌ寺院(パリ)、聖ポール大聖堂(ロンドン)等から招待を受けている。2021年日本へ完全帰国し、現在は日本キリスト教団聖ヶ丘教会首席オルガニスト、明治学院大学横浜主任オルガニスト及びアンサンブル室町芸術監督を務めている。



名田綾子(めいだ あやこ)作曲・ピアノ

兵庫県立西宮高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部作曲科を経て同大学院修士課程修了。合唱作品『日本の四季めぐり』『フランス歌めぐり』などの歌めぐりシリーズ、『いのち』『手から、手へ』『聴くと聞こえる -朝の音-』(カワイ出版)、「そらのいろ みずいろ」「鉄」(教育芸術社)、「小さな花」(Edition ICOT)ほか出版多数。第2回東京国際合唱コンクール児童合唱部門の課題曲「朝の山道」を作曲(パナムジカより出版)。指揮者・山田和樹氏の「アンセム・プロジェクト」において世界の国歌編曲を務める。こどものためのピアノ曲集『朝のスケッチ』『ピアノで世界の歌めぐり』(カワイ出版)など、器楽の作編曲も多い。作編曲家、ピアニストとしての活動のほか、ヤマハ創作講座講師として国内外で講座を行う。



悪原 至(あくはら いたる)打楽器

国立音楽大学卒業時に矢田部賞を受賞し、同大学院修士課程修了時には最優秀賞を受賞。同大学大学院より博士号(音楽)を取得。2013年より定期的にソロリサイタルを開催し、2021年には東京オペラシティ文化財団主催のリサイタルシリーズ「B→C」に出演。2022年NHK-FM「リサイタル・パッション」に出演。これまでに2種類のCDをリリースし、「悪原至×打楽器II」はレコード芸術の特選盤に選ばれ、読売新聞にて紹介されるなど評判となっている。第23回日本クラシック音楽コンクール第一位、第16回KOBE国際音楽コンクール最優秀賞を含め、国内4つのコンクールで第1位を受賞。第11回チェジュ国際金管打楽器コンクールファイナリスト。洗足学園音楽大学、国立音楽大学附属中学・高等学校非常勤講師。一宮市民会館等アーティスト・イン・レジデンス。



高松 亜衣(たかまつ あい)ヴァイオリン

3歳よりヴァイオリンを始める。名古屋市立菊里高校音楽科、東京藝術大学器楽科を卒業。ブルクハルト国際音楽コンクール第1位、全日本学生音楽コンクール名古屋大会第1位、全国大会第3位等数々のコンクールで入賞。東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー交響楽団と共演。高校在学時から現在までソロリサイタルや全国ツアーを積極的に行う。これまでに6枚のCDをリリース。ライブ配信や動画配信等オンラインでの活動にも精力的に取り組んでおり、SNS総フォロワー数は60万人を超える。使用ヴァイオリンは、D&K Violins Associationより貸与されている1840年クレモナ製の Enrico CERUTI。



伊藤勝寛(いとう かつひろ)ピアノ

愛知県一宮市出身。東京音楽大学音楽学部ピアノ専攻卒業。同大学大学院修士課程鍵盤楽器研究領域器楽専攻(伴奏)修了。現在は東海、関東地方を中心にソロ、室内楽、合唱伴奏等の演奏活動をしつつ、編曲活動にも力を入れている。